

ウクライナ映画人支援 緊急企画

ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ監督作品上映会

緊急開催 & ご協力をお願い

平素はお世話になっております。
現代ウクライナを代表する映画人・ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ監督作品の代表作であり日本未配給の2長編『アトランティス』(2019)『リフレクション』(2021)の緊急上映が決定、クラウドファンディングを通して上映料から義援金を集めてウクライナの映画人へ支援を行うことが決定いたしました。今回の企画は、発起人である前東京国際映画祭プログラミング・ディレクター・矢田部吉彦が有志を集めて立ちあげました。矢田部は東京国際映画祭在職中にヴァシャノヴィチ監督と



は親交を深めていましたが、今回のロシアのウクライナ侵攻を受けて、『リフレクション』の権利を扱うエージェントからコンタクトがあり、特別に上映許諾をもらい、日本での特別上映会を実施するに至りました。『アトランティス』は2019年のヴェネチア国際映画祭「オリゾンティ」部門 作品賞受賞、同年の東京国際映画祭「コンペティション」部門で審査員特別賞受賞し、大きな反響を呼びました。そして、彼の最新作『リフレクション』は2021年ヴェネチア国際映画祭のコンペティション部門に選出された、ロシアとの紛争の酷さを高度に洗練された美学に貫かれた映像で描く驚異の映画です。

今回、クラウドファンディング (Motion Gallery) を通して、会場費や字幕制作費などの実費をカバーし、プロデューサーに一定額を還元するとともに、募集したお金が上映経費を上回った場合には、ウクライナの映画人をサポートする団体に寄贈し、引き続き世界に発信する映画を撮り続けてもらおうと考えています。映画を通して世界を知ること、そして我々ができる平和への思い、ぜひこの機会に共感いただければと強く願っています。是非、本企画にご賛同のほど、よろしくお願い申し上げます。

開催情報

- ・実施名称：ウクライナ映画人支援上映会：ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ監督作品上映
- ・上映日時&場所：

3月29日 (火) 19:30開映 『アトランティス』 / 会場：ユーロスペース

3月30日 (水) 18:00開映 『アトランティス』 / 会場：ユーロライブ

3月30日 (水) 21:00開映 『リフレクション』 / 会場：ユーロライブ

3月31日 (木) 19:30開映 『リフレクション』 / 会場：ユーロスペース

- ・クラウドファンディングサイト：<https://motion-gallery.net/projects/standwithukraine/>

・主催：「ウクライナ映画人支援上映 有志の会」(代表 矢田部吉彦)

・協力：New Europe Film Sales、Best Friend Forever、(株) フリーストーンプロダクションズ、(有) マーメイドフィルム、(有) ユーロスペース、東京国際映画祭

(注意)

・チケット購入に際して：クラウドファンディング (Motion Gallery) のサイトにて前売り券を販売。(状況により当日券の販売も予定。)

・新型コロナウィルス感染症対策のもとイベントを実施いたしますが、感染拡大の状況によってはイベント自体の実施や内容が変更になる場合がございます。

チケットに関するお問い合わせ先：standwithukrainianfilmmakers@gmail.com

ウクライナ映画人支援 緊急企画

ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ監督作品上映会

緊急開催 & ご協力のお願い

ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ監督プロフィール

ウクライナの映画監督、プロデューサー、撮影監督。1971年ウクライナのジトームル生まれ。1995年に撮影監督、2000年にドキュメンタリー映画製作者として、カルペンコ・カリー国立劇場・映画テレビ大学を卒業。2007年にはポーランドのワイダスクールを修了。2012年に『Business As Usual』（オデッサ国際映画祭にて上映）で監督デビュー。2014年、ミロスラブ・スラボシュピツキー監督の『ザ・ドライブ』ではプロデューサー兼、撮影監督を務める。2019年に監督したディストピア作品『アトランティス』は、第76回ヴェネツィア国際映画祭「オリゾンテ」部門で作品賞を受賞し、その後も世界中で数々の賞を受賞。2021年に、彼の最新作『リフレクション』が第78回ヴェネツィア国際映画祭の「コンペティション」部門に出品された。



『アトランティス』

原題：Атлантида 英題：Atlantis

2019年/ウクライナ/108分/シネマスコープ/DCP

監督・脚本・撮影監督・編集・プロデューサー：

ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ

出演：アンドリー・リマルク、リュドミラ・ビレカ、ワシール・アントニャック
STORY：2025年、ロシアとの戦争終結後のウクライナ東部は荒廃し地雷原が点在する不毛地帯となっていた。元兵士のセルヒーは戦争で多くを失いPTSDに苦しむ日々を過ごしていたが、戦死したまま土中に放置されている遺体を掘り出し身元を特定するボランティア活動に参加し、同僚の女性カーチャと出会う。



『リフレクション』

原題：Відблиск 英題：Reflection

2021年/ウクライナ/126分/シネマスコープ/DCP

監督・脚本・撮影監督・編集・プロデューサー：

ヴァレンチン・ヴァシャノヴィチ

出演：ロマン・ルーツィク、ニカ・ミスリツカ、アンドリー・リマルク

STORY：ウクライナ東部での戦線が激化、病院に到着する重傷者の増加を実感していた外科医のセルヒーは義務感に追われるように自らも志願して戦地へと赴く。ロシアに制圧された地域に入ってしまう捕虜となったセルヒーは、収容所で人間としての尊厳を失わせる肉体や精神の破壊を目の当たりにする。



チケットに関するお問い合わせ先：standwithukrainianfilmmakers@gmail.com